

「自分らしく生きる子どもをはぐくむ」

めざす子ども像

●みんなとともに育つ子ども
●のびやかでゆたかな心をもつ子ども
●おもい、考え、行動する子ども

基本理念

学びに向かう力
(育みたい心情・意欲)
●じぶんっていいな、ともだちっていいな ～ありのままのあなただけがだいき～
●いっぱいあそぼう すきなことをみつけよう ～やってみよう たのびよう～
●ねえねえきいて いろんなきもちがあふれてる ～かんじよう あらわそう～

人権保育・教育

すべての子どもがともに育つ
～一人ひとりの個性を尊重する～

ねらい及び内容						
	0 歳 児	1 歳 児	2 歳 児	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児
養 護	生命の保持の情緒の安定の	●一人ひとりの基本的欲求や甘えなどの依存欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。 ●安心できる保育者との信頼関係を基盤に、一人ひとりの気持ちに共感し、自己主張を受け止めながら自我の育ちを援助する。	●言葉にならない行動の意味や気持ちを理解し、安心して自分の気持ちを表すことができるようになる。	●一人ひとりの子どもの思いや欲求を十分に受け止め、生命の保持と情緒の安定を図る。 ●子どもの気持ちや考えを受け止め、自発的な行動や探索意欲が高められるようにする。	●一人ひとりの子どもの思いや欲求を十分に受け止め、生命の保持と情緒の安定を図る。 ●多様な体験を通して主体的に周りのさまざまなものに関わり、自分の自信をもつことができるよう成長の過程を見守る。	●一人ひとりの子どもの思いや欲求を十分に受け止め、生命の保持と情緒の安定を図る。 ●自己肯定感を育み、自信をもって行動し、他者を受容しようとする気持ちを育てる。
	健やかに伸び伸びと育つ	●保育者と一緒に身の回りの簡単なことを自分でしようとする気持ちが生える。 ●生活の中で歩く、走る、登る、降りる、玩具を押す、引っ張るなど全身を使う楽しさを知る。	●簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ●走る、跳ぶ、またぐ、くぐるなど全身を使う遊びを楽しむ。	●毎日の生活の流れの中で、自分でできることは自分でしようとする。 ●走る、跳ぶ、投げなどの動きや、さまざまな道具を使った運動遊びを楽しむ。	●生活の流れが分かり、健康で安全な生活を送るために必要な約束や習慣が身に付き、自分でしようとする。 ●足踏みやスキップなどのいろいろな動きをしたり、運動道具を使いながら、時には体をコントロールし全身を使って積極的に遊ぶ。	●自分たちで生活の場を整え、見通しをもって意欲的に行動する。 ●自分の体に関心をもち、生活や安全などに必要な活動を進んで行い、体調の変化について自分から保育者に伝える。 ●全力で挑戦し、全身を使って遊ぶ気持ちよさを味わったり、さまざまな運動遊びに興味をもち、目標をもって努力し、諦めずに最後までやり通そうとする。
教 育	身近な人と気持ちが通じ合う	●親しみのある保育者との受容的な関わりを通して自分の気持ちを安心して表す。 ●生活や遊びの中で、身近な人と関わる心地よさを感じる。	●保育者との信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表そうとする。 ●遊びの共有や貸し借り、順番を待つなど友達との関わり方を少しずつ身に付ける。	●保育者に親しみをもち、安心して生活する。 ●年上の友達と憧れの気持ちをもったり、模倣して遊んだりする。 ●集団での生活の仕方に慣れ、きまりがあることに気付く。	●保育者や友達との安定した関係の中で、自分の思いを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。 ●友達と生活する中で、きまりの大切さに気付く守ろうとする。また、共同のものを大切にし、譲り合って使う。 ●友達と一緒に決めた目標に向かって、試したり、工夫したりしながら協力してやり遂げようとする。	●自分の思いを伝えようとしたり、友達への行動に自分の経験を重ねることで相手の思いに気付く。 ●友達と生活や遊びの中できまりがあることの大切さに気付き、自分たちでつくったきまりを守ろうとする。 ●友達と一緒に決めた目標に向かって、試したり、工夫したりしながら協力してやり遂げようとする。
	身近なものに関わり感性が育つ	●身近な自然物に関わったり、保育者と一緒に探索を楽しみながら水、砂、土、草花など身近な自然物を見たり触ったりする。 ●玩具や道具、さまざまな素材に触れ、いじる、たたく、つまむ、転がすなど手や指を使った遊びを十分に楽しむ。 ●生活の中でさまざまな音や形、色や味、香りなどに気付いたり、感じたりすることを楽しむ。	●身近な小動物、植物、事物などに興味、関心をもち、それらをよく見たり、触れたりしようとする。 ●探索を繰り返し、水、砂、土、草花などに触れたり、用具を使ってすくったり、入れたり、流したり、のそいたりして、さまざまな遊びを楽しむ。 ●生活の中でさまざまな音や形、色や味、香りなどに気付いたり、感じたりすることを楽しむ。	●自分の思ったことや感じたこと、困ったことを言葉に表したり、「なぜ?どうして?」などの質問をしたがりして、保育者や友達と言葉のやり取りを楽しむ。 ●絵本や紙芝居などの楽しさや面白さが分かり、イメージをもつて聞く。 ●ままごとやこっこ遊びの中で、日常生活でよく使う言葉を楽しんで使う。	●身近な動植物に関心や親しみをもって世話をする。 ●自然や身近な事物、事象に触れ、様子や気候の変化に気付く、不思議に思ったりする。 ●身近にある用具などに関心をもち、それらの使い方を知り、使ったり試したりして遊ぶ。 ●体験を通して身の回りのものの色、数、量、形などに興味や関心をもち、教えたより比べたりすることを楽しむ。	●飼育や栽培に興味・関心をもち、いたわり、当番活動に責任感をもって取り組む。 ●自然や身近な事物、事象に触れ、多様な関わりを楽しむ、そのしくみや不思議さに気付く、考え、予想し、試し、工夫しながら探索していくことを楽しむ。 ●さまざまな用具を使い、素材を組み合わせてつくったり、工夫して遊ぶことを楽しむ。 ●数量、図形、身近にある文字、言葉等に興味・関心をもち、生活や遊びの中で使おうとする。
保 健	健康	●自分を肯定する気持ちが芽生える。 ●体の動きや表情、発声、喃語などをやさしく受容されようとする。外界にはたらきかけようとする。	●生活や遊びの中で自分の身近な人の存在に気付く。親しみの気持ちを表す。 ●やさしく受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。 ●体の動きや表情、発声、喃語などをやさしく受容されようとする。外界にはたらきかけようとする。	●生活や遊びの中で、自分の生活の流れが分かる、健康で安全な生活を送るために必要な約束や習慣が身に付き、自分でしようとする。 ●足踏みやスキップなどのいろいろな動きをしたり、運動道具を使いながら、時には体をコントロールし全身を使って積極的に遊ぶ。	●自分の思いを伝えようとしたり、友達への行動に自分の経験を重ねることで相手の思いに気付く。 ●友達と生活や遊びの中できまりの大切さに気付く守ろうとする。また、共同のものを大切にし、譲り合って使う。 ●友達と一緒に決めた目標に向かって、試したり、工夫したりしながら協力してやり遂げようとする。	●いろいろな曲やリズムに合わせて、友達と一緒に歌ったり、楽器を奏でたり、体を使ったりする中で、気持ちを合わせる心地よさや表現することを楽しむ。 ●友達とイメージを共有し、協力しあって、感じたこと、想像したことを言葉や体、音楽、造形、劇遊びなどでさまざまな方法で表現し、自分たちで創造していくことを楽しむ。
	災害への備え	●「命の大切さ」を感じ、自分の命は自分で守るという意識をもつ。 ●安全に生活を送るために身に付けておきたい習慣や約束事について知る。 ●災害時の行動の仕方や避難の図案について知り、約束事を守って速やかに避難しようとする。 ●地震や台風などの自然災害に関心をもって、どうすればよいか考えて行動する。 ●子どもが自分自身の防災力や防災意識を高める。	●「命の大切さ」を感じ、自分の命は自分で守るという意識をもつ。 ●安全に生活を送るために身に付けておきたい習慣や約束事について知る。 ●災害時の行動の仕方や避難の図案について知り、約束事を守って速やかに避難しようとする。 ●地震や台風などの自然災害に関心をもって、どうすればよいか考えて行動する。 ●子どもが自分自身の防災力や防災意識を高める。	●食・食べ物をみる、触る、匂う、味わう経験や菜園活動などを通していろいろな食べ物を知り、食への興味をもつ。 ●友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 ●自然の恵みである食べ物について知り、命の大切さを感じる。 ●食べ物と体のつながりを知る。 ●調理してくれた人への感謝の気持ちをもち、年齢に応じた食事のマナーを身に付ける。 ●食文化を意欲して、季節や地域の食べ物の意味などを知る。	●食・食べ物をみる、触る、匂う、味わう経験や菜園活動などを通していろいろな食べ物を知り、食への興味をもつ。 ●友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 ●自然の恵みである食べ物について知り、命の大切さを感じる。 ●食べ物と体のつながりを知る。 ●調理してくれた人への感謝の気持ちをもち、年齢に応じた食事のマナーを身に付ける。 ●食文化を意欲して、季節や地域の食べ物の意味などを知る。	●食・食べ物をみる、触る、匂う、味わう経験や菜園活動などを通していろいろな食べ物を知り、食への興味をもつ。 ●友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 ●自然の恵みである食べ物について知り、命の大切さを感じる。 ●食べ物と体のつながりを知る。 ●調理してくれた人への感謝の気持ちをもち、年齢に応じた食事のマナーを身に付ける。 ●食文化を意欲して、季節や地域の食べ物の意味などを知る。
小学校教育への接続	●児童や小学校職員、小学校の環境に親しみをもち、小学校生活を身近に感じる。 ●小学生との触れ合いや関わりの中で、年上の友達に憧れや親しみの気持ちをもつ。 ●交流を通して、遊びや生活の中でのルールの大切さや集団生活の規律を守る必要性を知る。 ●小学生との関わりや交流で経験したことを自分たちの遊びに取り入れ、次の遊びや生活に生かす。 ●幼児期の生活が小学校生活と円滑に接続していくことで、1年生になることへの期待を高める。	●児童や小学校職員、小学校の環境に親しみをもち、小学校生活を身近に感じる。 ●小学生との触れ合いや関わりの中で、年上の友達に憧れや親しみの気持ちをもつ。 ●交流を通して、遊びや生活の中でのルールの大切さや集団生活の規律を守る必要性を知る。 ●小学生との関わりや交流で経験したことを自分たちの遊びに取り入れ、次の遊びや生活に生かす。 ●幼児期の生活が小学校生活と円滑に接続していくことで、1年生になることへの期待を高める。	●食・食べ物をみる、触る、匂う、味わう経験や菜園活動などを通していろいろな食べ物を知り、食への興味をもつ。 ●友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 ●自然の恵みである食べ物について知り、命の大切さを感じる。 ●食べ物と体のつながりを知る。 ●調理してくれた人への感謝の気持ちをもち、年齢に応じた食事のマナーを身に付ける。 ●食文化を意欲して、季節や地域の食べ物の意味などを知る。	●食・食べ物をみる、触る、匂う、味わう経験や菜園活動などを通していろいろな食べ物を知り、食への興味をもつ。 ●友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 ●自然の恵みである食べ物について知り、命の大切さを感じる。 ●食べ物と体のつながりを知る。 ●調理してくれた人への感謝の気持ちをもち、年齢に応じた食事のマナーを身に付ける。 ●食文化を意欲して、季節や地域の食べ物の意味などを知る。	●食・食べ物をみる、触る、匂う、味わう経験や菜園活動などを通していろいろな食べ物を知り、食への興味をもつ。 ●友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 ●自然の恵みである食べ物について知り、命の大切さを感じる。 ●食べ物と体のつながりを知る。 ●調理してくれた人への感謝の気持ちをもち、年齢に応じた食事のマナーを身に付ける。 ●食文化を意欲して、季節や地域の食べ物の意味などを知る。	●食・食べ物をみる、触る、匂う、味わう経験や菜園活動などを通していろいろな食べ物を知り、食への興味をもつ。 ●友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 ●自然の恵みである食べ物について知り、命の大切さを感じる。 ●食べ物と体のつながりを知る。 ●調理してくれた人への感謝の気持ちをもち、年齢に応じた食事のマナーを身に付ける。 ●食文化を意欲して、季節や地域の食べ物の意味などを知る。
	家庭との連携	①子育てに関する情報交換の場や交流の機会を設け、子どもの育ちを保護者とともに喜び合う。 ②保護者と直接話をしたり、連絡帳を活用したりして、様子を伝え合うことで、園と家庭との信頼関係を築き、子どもの育ちについての見通しを共有する。 ③育児の楽しさや大変さなど保護者の気持ちに寄り添いながら、子どもと話をしたりスキンシップを取ったりすることの大切さを伝えていく。 ④保護者同士のネットワークを構築する。 ※上記の①～④のねらいに沿って、年齢別カリキュラムにおいて家庭との連携を分類しています。	①子育てに関する情報交換の場や交流の機会を設け、子どもの育ちを保護者とともに喜び合う。 ②保護者と直接話をしたり、連絡帳を活用したりして、様子を伝え合うことで、園と家庭との信頼関係を築き、子どもの育ちについての見通しを共有する。 ③育児の楽しさや大変さなど保護者の気持ちに寄り添いながら、子どもと話をしたりスキンシップを取ったりすることの大切さを伝えていく。 ④保護者同士のネットワークを構築する。 ※上記の①～④のねらいに沿って、年齢別カリキュラムにおいて家庭との連携を分類しています。	●食・食べ物をみる、触る、匂う、味わう経験や菜園活動などを通していろいろな食べ物を知り、食への興味をもつ。 ●友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 ●自然の恵みである食べ物について知り、命の大切さを感じる。 ●食べ物と体のつながりを知る。 ●調理してくれた人への感謝の気持ちをもち、年齢に応じた食事のマナーを身に付ける。 ●食文化を意欲して、季節や地域の食べ物の意味などを知る。	●食・食べ物をみる、触る、匂う、味わう経験や菜園活動などを通していろいろな食べ物を知り、食への興味をもつ。 ●友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 ●自然の恵みである食べ物について知り、命の大切さを感じる。 ●食べ物と体のつながりを知る。 ●調理してくれた人への感謝の気持ちをもち、年齢に応じた食事のマナーを身に付ける。 ●食文化を意欲して、季節や地域の食べ物の意味などを知る。	●食・食べ物をみる、触る、匂う、味わう経験や菜園活動などを通していろいろな食べ物を知り、食への興味をもつ。 ●友達と一緒に食べる楽しさを感じる。 ●自然の恵みである食べ物について知り、命の大切さを感じる。 ●食べ物と体のつながりを知る。 ●調理してくれた人への感謝の気持ちをもち、年齢に応じた食事のマナーを身に付ける。 ●食文化を意欲して、季節や地域の食べ物の意味などを知る。